

## 会 議 録

- 会議名称 令和7年度第2回渋川市環境審議会
- 日 時 令和8年1月14日(水) 午後2時～午後3時30分
- 場 所 本庁舎 大会議室
- 出席者 《審議会委員》  
萩原会長、小黒副会長、神戸委員、中島委員、丸山委員、角田委員、金井委員、坂田委員、狩野委員、武藤委員、鈴木委員、鳥山委員、篠田委員、田部井委員、渡部委員  
以上15人  
《渋川市》  
市民環境部長、環境森林課長、環境政策係長、環境政策係員
- 欠席者 《審議会委員》  
中山委員、星野委員、今井委員、町田委員、成島委員

### 概 要

#### 1 開会

#### 2 あいさつ

#### 3 議事

##### (1) 議案第1号 第2次渋川市環境基本計画(2024-2028)環境施策報告書ー令和6年度施策・事業の点検結果ーについて

質疑1 雨水pH測定(酸性雨にかかる指標)における、目標達成の進捗度について見直しを行うべきではないか。

答弁1 雨水pHの計算は、対数を用いて算出される。そのため、次期計画策定時には指標の進捗度の基準について検討したい。

質疑2 自主防災組織の防災訓練、防災講話等への職員派遣済団体数について、令和10年度目標値の達成は難しいのではないか。

答弁2 令和4年度現状値よりも減少しているのが実情である。新型コロナウイルスの影響がある一方で、地震や台風などの災害に対して自主防災組織の育成は重要な課題であるため、進捗管理を行う中で今後は関係機関と連携しつつ、活動内容について検証していきたい。

質疑3 竹林整備面積について、自治会からの要望に基づいて竹林の整備を行っているとのことであるがどのような取組を行っているのか。

答弁3 自治会からの要望、地権者の合意に基づき事業を実施している。そのため、今後も竹林が地域の自然環境に与える影響などについて理解を得ても

らうことができるように引き続き働きかけを実施していきたい。

質疑 4 報告書の構成について、重点施策の達成状況、また進捗が遅れている項目だけではなく順調に進捗した項目においても市民の協力の結果であるため評価をした方がよいのではないか。

答弁 4 各指標の達成は、市だけではなく市民の多大なる協力によるものである。今後は、重点施策や市民の協力、支援の結果を含めて報告書を作成していきたい。

質疑 5 温室効果ガス排出量削減数値について、廃棄物処理との関係が言及されていない。家庭系ごみの1人1日当たりの排出量の削減は、温室効果ガス排出量の削減にも貢献するため、2つを結びつけた記載をすべきではないか。

答弁 5 渋川市は、広域組合に委託して廃棄物処理を行っている。そのため、榛東村、吉岡町と協働して取り組む必要があるなかで、今後の課題として取組を整理し、温室効果ガス排出量とも結びつけることができるよう検討していきたい。

質疑 6 電気自動車用急速充電器について今後はどのような展望なのか。

答弁 6 道の駅こもち、道の駅おのこに設置された電気自動車用急速充電器は道の駅の利用促進、防災拠点としての活用を踏まえ、今年度新たに規模を大きくして更新する計画を進めている。

## **(2) 議案第2号 第4期渋川市地球温暖化対策実行計画及び渋川市環境物品等調達方針に基づく令和6年度実績について**

質疑 1 市有施設に設置された太陽光発電設備が故障した場合はどのように対応するのか。

答弁 1 本来的には、施設管理の面から適切に修繕を行うべきではあるが、財政面により手が回っていない現状である。

質疑 2 市有施設に設置された太陽光発電設備で発電した電力について、蓄電池の設置は検討しているのか。

答弁 2 今後の市有施設の再編時に、環境面への負荷も考慮し、施設管理担当部署とも連携し導入を検討したい。

質疑 3 報告書における温室効果ガス総排出量の削減の進捗について経年経過がより分かりやすいように記載した方がいいのではないか。

答弁 3 今後は、目標年度までの経年経過が分かりやすいレイアウトについて検討したい。

質疑 4 非化石証書付き電力の調達施設数は、現在の65施設であるが今後増やす予定はあるのか。

答弁 4 現状の65施設が非化石証書付き電力導入可能な施設の最大数であると考えている。今後、施設の再編統廃合を検討する必要がある。そのため、エネルギー調達において適切な施設管理を実施していきたい。

質疑 5 環境基本計画の報告書では令和 4 年度の現状値と各年度の比較、地球温暖化対策実行計画の報告書では主に令和 5 年度と令和 6 年度の比較であるがどのような意図があるのか。

答弁 5 環境基本計画の報告書では、計画期間における進捗を網羅的に示している。一方で、地球温暖化対策実行計画の報告書では公表に当たってのデータ量を考慮した上で前年度との比較をしている。また、その他環境に関するデータは「渋川の環境」で報告をしている。

**(3) 議案第 3 号 (仮称) 渋川市地球温暖化対策実行計画2027－2030の策定のための市民意識調査結果について**

質疑 1 住宅等へ導入された太陽光パネルの最終的な廃棄について渋川市としてはどのように考えているのか。

答弁 1 廃棄物処理の観点から、先進地域の取組や廃棄費用などに情報収集をしており、今後の課題として意識している。

意見 1 市民意識調査の自由記載については、市民の考え方が表れるため計画策定において意識を向けるべきである。

意見 2 地球温暖化だけでなく、異常気象等についても踏み込んだ計画にして欲しい。

**4 その他**

特になし

**3 閉会**

－ 以上 －